

中央大学杉並高等学校 学校通信

杉燦

さんさん

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2025年度第4号(通算119号)

<https://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

61期生 卒業おめでとう!

2026年3月10日(火)、第61回卒業式が本校第一体育館にて行われました。10時開式、卒業生・教職員・来賓・保護者の方々が参列。336名の名が呼ばれ、一人ずつ壇上で卒業証書を受け取りました。61期卒業をもって、中杉卒業生は計19,448名となりました。

式辞

中央大学杉並高等学校長 高橋 宏明

六十一期生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうござい
ます。保護者の皆様におかれましても、心よりお祝い申
し上げます。

さて、ここ数年でAI(人工知能)が目覚ましい進化
を遂げています。二〇二三年初め頃にChatGPTが話題
になり、この三年間で急速に技術革新が進みました。生
成AIの精度が高まるにつれて、近い将来、AIが人
間の仕事を奪うとまで言われるようになりました。果た
して、AIが人間に代わって様々な決定を下す時代が来
るのでしょうか。

生成AIは、私たちの「問い」に短時間で簡単に答え
を導き出してくれます。考える手間を省いてくれる、と
ても便利な道具と言えるかもしれません。しかし、AI
の進化によって人間が考えることを止めるようなことが
あれば、おそらく人間はAIを使いこなすことができな
くなるでしょう。AIはあくまでも人間からの「問い」
に応える道具ではありません。AIに問いを発するた
めには、人間自らが「学ぶ姿勢」を持ち続け、「正しい知
識」と「善悪の判断力」を身に付けていかなければなら
ないのです。

将来、AIが重要な役割を担うことは間違いないでし
ょうが、これからはますます人間が「問い」を生み出す
ことが重要になります。「どんな課題を解決したいのか」、
「どのような未来を望むのか」、AIに「問い」を発す
る個人の「意思」が大切になるのです。AIに最初から
安易に答えを求める人間よりも、回り道をしたり、立ち
止まったりしても、結局のところ、自分の頭で考え、想
像すること続けられる人間が必要とされるのだと、私
は思います。

中杉では、どのような時代になっても皆さんが社会で
生き延びていけるように、人間にとって大切な「学ぶ力」
を身に付けて欲しいと願ってきました。皆さんは三年間
の教育プログラムで、フィールドワークや研修旅行に行
き、芸術を鑑賞し、緑苑祭や合唱コンクール、体育祭に
取り組みました。これらはどれも、自分の頭で考えるた
めの知的行為と仲間と共に作り上げていく協働作業によ
って成り立っています。三年間の学びの経験を通じて、
皆さんにはこれからの時代を生き抜いていける基本的な
能力が身に付いた、と私は信じています。

最後に、私は三年前の入学式において、皆さんに「自
分自身を大切にしたい」と伝えました。その思いは
今でも変わらず、これからも「自分を大切に生きて
欲しい」と願っています。自分自身を大切にできる人間
は、「他者をも尊重して」共に生きていけるでしょう。高
校で学んだ経験を活かし、自分に自信を持ち、自分なり
の挑戦を続けてください。皆さんが、自分で納得のいく
生き方、充実した人生を送ることを祈っています。

改めて、卒業、おめでとうございます。

祝辞

中央大学副学長 石井 洋一

中央大学杉並高等学校を卒業される皆さん、本日は本
当におめでとうございます。中央大学教職員を代表して、
お祝いを申し上げます。また、卒業生を支え
てくださったご家族の方々にも心よりお喜びを申し上げ
ます。

おそらく皆さんのうちの多くの方は、中央大学をはじ

めとする大学へと学びの階段を上がることと思います。ご存じかもしれませんが、卒業という意味の英語、(Graduation) という言葉は、もともと階段、段階という意味のある言葉だそうです。ですから卒業とは、本来、階段を登ることなのです。学校の校舎の1階から見ると、階段を上って、屋上から見る景色では、まったく違って見えますね。それと同じようにこれから大学生となって見る学問は、これまで学んできたものとは階段を登った分、違って見えるはずですが、高く昇れば昇るほど、これまで見えなかったものが見え、気付かなかった部分に気付かされることでしょうか。

このことについて、もう少し、簡単なたとえ話をしてみたいと思います。学校の正門の横には木があります。晴れていれば木に影ができます。そしてその影は午前中は西側を向いていますが午後には東側を向くように位置が変わります。ではそれはなぜでしょうか。答えはすぐ頭に浮かんだと思います。当然、太陽が動いたから・・・もちろんそれは間違っただけではありません。しかし、本当は太陽は動いていない。動いたのは地球です。地球が自転したのです。地球の自転は、影が動く原因になるだけではありません。台風が左巻きの渦になっているのも、海の水が満ちたり引いたりするのも、自転の結果です。地球が磁石になっていることも自転と深いつながりがあると言われています。このように考えてくると、これらの、影の動きとか、台風とか、潮の満ち引きとか、地磁気とか、一見ばらばらに見える多くの事実が、実は見えない部分で深い関連のある現象だということがわかるのです。

これから学ぶ学問すべてが、同じような面を持っていません。これまでは、目に見えるところ、直接的に理解しやすいところから、社会的な、人文学的な、あるいは自然科学的な現象や規則、作品などを学んできたと思います。ちょっと言い過ぎかもしれませんが、太陽が動いたから影が動いた、というイメージです。一方、大学では、もっと学問の本質、目に見えづらい深いところ、自明ではないところ

から、系統立てて学ぶ作業が始まります。高校の勉強はそのための助走期間と言ってもよいかもしれません。本当の意味で、学問というものに向き合う経験が、大学ではできることでしょうか。

その大学に進むにあたって、私から一つだけ、アドバイスをしたいと思います。それは、「欲張りになる」ということです。もちろん、物欲を満たせ、ということではありません。知識や経験に対して、食欲になってほしいということです。自分の専門の知識を高めることはもちろんですが、それ以外に、趣味やスポーツなども含めて、少しでもたくさんの方に挑戦し、経験し、豊かな教養と幅のある人格を身につけてほしいということです。

もともと、高校までと違って、大学では手取り足取りで学業の面倒を見てくれるわけではありません。どこの大学でも、自己責任において取り組むことが求められます。そのかわり、多くを望めば、多くが与えられるとも言えるでしょう。教えられたものを学ぶというのではなく、自分から欲張って学ぶことが必要です。また、大学は、社会に出る前の非常に大事な時期でもあります。皆さんは、その期間に、社会人となる準備をするわけです。そこで、どれだけのことチャレンジしたか、新しいことをどれだけ経験したか、それが卒業後に豊かな人間性として実るのです。スポーツ、芸術、音楽、旅行、外国語、趣味、そういうものはきつと十年、二十年、あるいはもっと先の皆さんの人格の一部になることでしょうか。どうか、知識に対しても経験に対しても、欲張りな大学生となってください。一大学教員としての期待を申し述べ、皆さんへのエールと致します。本日はご卒業おめでとうございます。

在校生代表挨拶

柔らかな春の風が吹き、希望に満ちたこの佳き日に卒業を迎えられた六十一期生の皆様、誠におめでとうございませす。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業という節目を迎えられた今、先輩方は新たな道へ進まれる期待とともに、この学び舎を離れる寂しさや名残惜しさも感じていらつしやることと存じます。私たちが在校生にとりまして、先輩方と共に過ごした日々は、かけがえのない大切な思い出として心に深く刻まれております。

部活動において先輩方はいつも明るく私たちを導いてくださいました。分からないことがあれば丁寧に教えてくださり、練習で思うようにいかず悩んでいるときや、不安を抱えているときにも、忙しい中にもかかわらず親身になって相談に乗り、温かい言葉をかけてくださいました。その一言一言が、どれほど私たちの支えとなったことでしょうか。

また、体育祭では先輩方が率先して声を出し、会場全体を盛り上げてくださいました。その力強い姿に背中を押され、私たちも最後まで諦めることなく、全力で競技に取り組むことができました。勝利の喜びを分かち合い、悔しさの中でも仲間を称え合う先輩方の姿から、仲間と共に挑戦することの尊さを学びました。先輩方が築いてくださった温かい校風があったからこそ、私たちは安心して学校生活を送ることができました。先輩方が卒業されることに大きな寂しさを感じますが、これからは私たちがその思いを受け継ぎ、先輩を支え、最上級生としての自覚と責任をもって本校をさらに発展させてまいります。

結びに、これまで私たちを導き、温かく見守ってくださったことに心より感謝申し上げます。先輩方のこれからの歩みが、希望に満ちた輝かしいものとなりますことをお祈り申し上げます。在校生代表の挨拶とさせていただきます。

二年

H・S

卒業生代表挨拶

三年 Y・M

卒業式の朝、まさかこんな名残雪が舞うなんていったい誰が予想したでしょうか。涙の雨に代わって、私たちの門出のお祝いに真っ白な景色を届けてくれたのかもしれない。今日をもって私たち六十一期生三三六名は中央大学杉並高校を卒業します。本日はお寒い中、御来賓の皆様をはじめ多くの方々にご臨席賜り、誠にありがとうございます。そして私たち六十一期生のためにこのような素晴らしい卒業式を挙行していただきましこと、卒業生一同心より厚く御礼申し上げます。

三年前、この場所です入学式を迎えてから今日この日までであったという間に駆け抜けてしまいました。入学式の直前に友人たちと交わした会話が、昨日のことのように思い出されます。「マスク外して出る？ つけたまま？」

顔の半分を隠したまま、お互いの表情を探り合い、高校生活が始まることへの期待と不安が入り混じっていたあの日。マスク生活に慣れきっていたあの頃は、自分の殻に閉じこもってしまっていたと思います。しかし中杉生の温かさに触れ、次第にありのままの自分であることへの恐怖心が薄らぎ、素敵な友人たちと共に充実した三年間を過ごすことができました。

振り返れば私達の中学校三年間は行事の中止や制限が相次ぎ、当たり前前の生活が当たり前ではなかったことを実感する期間でもありました。どこかやりきれない気持ちを抱えていた私達だからこそ、中杉の一つ一つの行事に全力で取り組み、全力で楽しめたのだと思います。同じクラスの仲間を全力で応援した球技大会、よりたくさんのお客さんに楽しんでもらえるようにぎりぎりまで工夫を重ねた緑苑祭、白組の圧倒的な強さに驚かされた体育祭、クラスで気持ちを一つに丁寧な作り上げた音楽祭。どの行事でも一番を目指して声を枯らし、涙を流して戦い抜いたこの経験は私の一生の宝物になりました。

私はこの三年間、ダンス部と茶道部の活動に全力を注いできました。ダンス部では最後の大会で、これまでとは雰囲気ガラッと変えて新しいジャンルに挑戦しました。結果的に目標としていた全国大会出場には及ばず、とても悔しい思いでいっぱい、自然と涙が溢れました。けれどこの涙こそが何よりも本気で戦った証拠であり、その熱量をみんなで見合えたことが私たちの誇りです。自分たちで0から作品を作り上げ、時にはぶつかり合いながらも、私たちが伝えたい思いを表現できたということに大きな達成感を感じました。茶道部ではハンガリー文化センターの方々との交流茶会をさせていただく機会がありました。言葉の通じない海外の方に茶道を楽しんでいただけると不安でしたが、あえて説明しすぎることせず、お点前の美しさを体験していただくことと考えました。当日私はすごく緊張していましたが、ハンガリーの方と向かい合って礼をした際、言葉は使わなくとも心が通じ合ったように感じられ、安心しておもてなしすることができました。

一見すると正反対に見えるこの二つの部活動ですが、実は私の中で一つの共通点がありました。それは言葉を使わずに思いを表現するということです。ダンスは言葉を使わず、全身に思いを込めて表現します。茶道もまた相手への思いやりの心を所作に込めます。このような表現では思いの全ては伝わりきれないかもしれないけれど、時として言葉で伝えるよりも何倍もの実感を持って相手に伝えることができます。一つ一つの振り付けや所作に、今の自分にできる限りの心を尽くす。その尊さを、私はこの二つの部活動から教わりました。

私達がこのように行事や部活に全力で取り組み、何と自由なく色鮮やかな日々を過ごすことができたのは、私達の知らないところで当たり前を守り続けてくださった方がいたからです。いつも私達の挑戦を見守り、優しく時に厳しく導いてくださった先生方。たくさんの美味しいメニューで私達のお腹を満たしてくれた食堂の皆様。制服や課題図書を購入して

お世話になった生協の皆様。学校内を毎日きれいに清掃してくださった皆様。校門で毎朝私たちを暖かく迎えてくださった守衛さん。健康だけでなく心の不安にも寄り添ってくれた保健室の皆様。また私達が不自由なく活動できるよう、環境を整えてくださった事務室の方々。皆様が作ってくださった当たり前があったからこそ、私達は安心して自分の道を探し、突き進むことができました。そして一番近くで私を信じ、支え続けてくれた家族。毎日朝早くからお弁当作りをしてくれて、部活動を応援してくれてありがとう。何があっても変わらずに味方でいてくれたこと、心から感謝しています。

共に三年間を過ごした六十一期生のみんな。何事にも一生懸命なみんなと同じ時間を過ごし、この中杉で青春を彩れたことは私にとってもかけがえのない幸せです。六十一期生として中杉に入ることができて心から誇りに思います。当たり前は当たり前ではない、ということに身をよじりて経験してきた私達ですが、日々過ごしていくうちにその感覚は薄れていってしまうものかもしれません。だからこそ、卒業というこの節目に当たり前にある幸せのありがたさ、大切さを再確認し、感謝の気持ちを言葉でも言葉以外でも表現していきたいと思えます。そしてこれからは私達が、誰かの当たり前を支え、言葉を越えた思いやりを届けられる、強く優しい大人になっていくことをここに誓い申し上げます。

最後になりますが、中央大学杉並高校のさらなる発展と、本日も臨席いただきました皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。卒業生代表挨拶とさせていただきます。



1年生 フィールドワークへ行ってきました!

1月8日(木)、9つのコースに分かれてフィールドワークを実施しました。浅草、横浜、江ノ島、川越、豊洲・築地、お台場、日本橋、下北沢、木更津などさまざまな地域を訪れ、それぞれのテーマに沿って学びを深めました。水族館で海の生態や環境について学んだり、料理づくりや農業体験を通して食や産業について考えたり、メディアや福祉の取り組みを見学するなど、普段の教室では得られない体験をすることができました。また、街歩きやインタビュー調査、フィールドワークを通して、観光、地域文化、環境問題、社会参加など多様な視点から地域の魅力や課題に触れることができました。実際に現地を訪れ、人と出会い、体験を通して学ぶことで、生徒たちにとって実り多い一日となりました。



2年生 5コースに分かれての研修旅行、無事終了!

1月8日(木)~11日(土)の4日間【※マレーシアは12日(日)帰国】、2年生は沖縄・奄美・東北・韓国・マレーシアの5コースに分かれた研修旅行を実施しました。各々が立てた問いの答えを探る探究学習の一環としての研修旅行。まさに「行動する知性」を実感するプログラムとなりました。

沖縄

民泊 # もとぶ元気村
平和学習 # 意見交換会

もとぶ元気村ではびしょびしょになりながらシーカヤックに乗り、国頭村での民泊では、とりたてのパイナップルを食べたり、三線を習って弾き語りができるようになるなど、一生忘れられない体験をしました。



東北

東日本大震災伝承館
松島 # 山鉄 # 東北大学

目の前にいるごく普通の方が地震や津波で身内を亡くされたり、家が流されたりという体験をされており、いまだに癒えぬ東北の人々の傷に触れた研修旅行になりました。



奄美

世界自然遺産 # 泥染め
マングローブ # 意見交換会

カヌーに乗りながら奄美特有のマングローブに触れられたのが、最も印象に残りました。肌で自然を感じられたのが何よりもよかったです。



非武装地帯の見学
学校交流 # B&S

韓国

世宗高校・世宗女子高校との交流が一番心に残りました。椅子取りゲームをしたり、韓国の高校生に教わりながら、キンパとビビンバを一緒に作って食べたり、楽しいひとときを過ごしました。別れを惜しんでハグしたことも忘れられない思い出です。



マレーシア

イスラム教 # 中華系
近代化

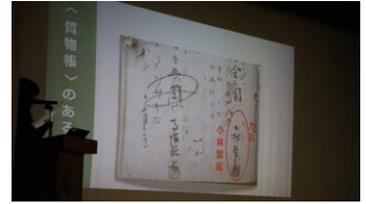
街のいたるところでみかけたハラル食品が印象に残りました。ハラル食品とはイスラム教の戒律にしたがって作られたもので、このハラル食品の産業規模の大きさに驚きました。



3年生 今までの集大成卒論・理数探究発表会を実施

さる1月10日(土)、3年間にわたる探究活動の総まとめとして「卒業論文・理数探究発表会」が本校第一体育館で開催されました。卒業生をコメンテーターとして迎え、以下の題目で発表が行なわれました。

- 「Wikipediaにおける知識のあり方と体系化の条件」
- 「明治前期の〈質物帳〉から考察する質屋利用の実態」
- 「指紋採取と照合」
- 「スカイツリーのライトアップの再現」



どれも獨創性に富んだ見事な研究で、自分の身の回りにあるものを学術的な観点から見直し、校長先生からは大学生でもこままでの成果を残せるものは珍しいというコメントをいただきました。この研究成果をもとに大学でも活躍してください！

3学期活動報告



【学校行事】

3学年中大入学前教育(2月2日～3月12日):中央大学に進学が内定した3年生が、大学のゼミ体験やレポート作成に取り組みました。

3学年オックスフォード研修(2月15日～3月2日):3年生有志がオックスフォードでホームステイをしながら研鑽を積みました。

PBL研究発表会(2月18日[1年生]、25日[2年生]):3年生の優秀卒業論文と理数探究の成果が下級生の前で披露されました。

3学年卒業記念芸術鑑賞教室(3月5日):3年生全員が、電通四季劇場[海]で劇団四季の「アラジン」を鑑賞しました。

【探究活動 「中央大学をアップグレードするためのアイデアコンテスト」受賞!】

中央大学グローバル・アントレプレナーシップ教育推進委員会事務局と中央大学国際センター主催の「第2回 中央大学をアップグレードするためのアイデアコンテスト」で本校の生徒が優秀賞、佳作、特別賞を受賞しました。日頃の探究学習がこのような形で実を結びました。

- ◎優秀賞【スマートソリューション賞】はちみつクッキー(3年)「高校と大学『教室』をつなぐ」
- ◎佳作【インスピレーション賞】たいが(1年)「中央大学リバーキャンパス」
- ◎特別賞 そらヒロ(1年)「中大キャンパス脱出ゲーム」
いんげん(3年)「#中大時間割展覧会」



THANK YOU

卒業した61期生よりソファセット一式をご寄贈いただきました

61期生の皆さんより、卒業記念品として図書室と1号館3階に置くソファセット一式をご寄贈いただきました。生徒の憩いの場がまた増えました。

61期の皆さん、ありがとうございました。大切に使います!



岡野友美先生ご退職



校門をくぐってすぐ、見上げると法と秩序を象徴する女神テミスの像があります。中杉は、生徒と教員がそれぞれに信じる正義と良識に従いつつ、不文律として共有された掟によって秩序が保たれる、まるで奇跡のように天秤のバランスが取れた稀有な学校でした。

短い間ではありましたが、一員となれたことを幸せに思っております。心より御礼申し上げます。 岡野 友美

音楽祭

1月30日、中央大学のクレセントホールで行われた音楽祭。今年度もレベルの高いクラス合唱が披露されました。選択音楽クラス・合唱部・吹奏楽部・音楽部も素晴らしい成果を発表し、会場を盛り上げてくれました。ここでは各審査員の方の講評をまとめています。

〈1年生部門 音楽クラス〉

1-1【僕のこと】

曲全体の中でどこが一番ピークになるのかを感じ取り、そこに向かっていく盛り上げ方や曲全体の構成について更に掘り下げられると良いと感じました。混声4部なので、特に男声は難しかったはずですが、努力の跡が見られました。四声がきれいにハモる部分では女声の美しさが際立っていました。

1-2【COSMOS】

朗々と余裕を持って美しく歌えていました。発声がきれいでイメージが湧く合唱でした。合唱全体が息の流れを持って前へ進んでいくように出来ると更に良かったと思いました。シンプルな構成の曲ですが、聴く側にどうインパクトを与えるかという課題を、今回の成果を元にぜひ次年度にも生かしてください。

1-3【奏】

発声が良く、艶とハリのある各声部の声の美しさが印象に残りました。ごくまれに男声がざらついた声になってしまったのが残念でした。しかし表現は計画的かつ情熱的で大変魅力のある合唱でした。細かいリズムで歌う部分でも歌詞がくっきりと聴こえてきて、丁寧な練習を重ねたのだなと感じました。

1-4【カイト】

リズムをしっかり感じ取って歌えていました。曲想も豊かな丁寧な合唱に仕上がっており、好印象でした。歌詞がもっとクリアに表現できると更に良かったと思います。楽器の特性を十分に分かって弾いている伴奏と、説得力かつ節度のある指揮が合唱を巧みに引っ張っていたと思います。

1-5【Laughter】

冒頭からフレーズをきちんと意識した流れになっていました。男声が目立ってしまいがちな箇所もコントロールされた発声で歌えており、美しいハーモニーが際立っていました。指揮と合唱とピアノの一体感も good。La, la, la・・・の部分は、最後のサビの再現に向けて、より大胆に変化を付けても良かったかもしれません。

1年生部門

～音楽クラスの部～

【金賞】5組「Laughter」

【銀賞】4組「カイト」

～美術クラスの部～

【金賞】7組「ノンフィクション」

【指揮者賞】O・S(4組)

【伴奏者賞】N・M(1組)

〈1年生部門 美術クラス〉

1-6【正解】

音程、リズム、表現など難易度の高い曲ですが、よく練習した跡がみられました。美術クラス部門(そして1年生の中で)のトップバッターでしたので、緊張したかもしれません。しかし、終盤に徐々に曲が盛り上がっていくあたりなど、緊張を感じさせず堂々と歌えていました。更に自信を持って歌っても良かったと思います。

1-7【ノンフィクション】

表現しようとする心意気に圧倒されました。力強くダイナミックな演奏でした。パートの役割を整理し、特に聴かせたいところを聴かせる演奏に出来ると、更に良いと感じました。音楽クラスにも全く引けを取らないくらいの立派な発表でした。

1-8【キセキ】

並び方を工夫していたのが良かったと思います。男声は若干地声が混じってしまったのが残念でしたが、ソプラノとアルトを力強く支えていました。バランス的にもっと息を前に送るつもりで声を出せると良いです。女声2パートは声にハリがあるとより良いと感じましたが、音程はよく揃っていました。

〈2年生部門〉

2-1【あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～】

主旋律がパート間で移り変わるところを、より意識できると良いと思いました。強弱の表現はしっかりと練られていました。音程も Good。テノールの優しい声が好印象でした。女声も美しい！十六分音符の連続のところの歌詞はもっと丁寧に。

2-2【ヒカリ】

気迫があり、曲の力強さをよく表現できていました。強さだけでなく弱さを表現できる箇所をもっと増やして奥行きのある音楽を作れると更に良いと思いました。女声、特にソプラノの発声がきれいでした。時々男声が荒い声になったのが惜しかったです。

2-3【言葉にすれば】

表現が細かく付いており、難しい曲をよくここまで仕上げられたと感心しました。少しばかりテンポが速く、裏拍を感じ切れていない印象を受けた箇所もありましたが、響きの美しさや安定感、一体感は抜群でした。カンニング・プレスも自然にできていて、フレーズを的確に感じて歌えていました。

2-4【ハナミズキ】

全体的に言えますが、特に Whooーの部分、四声の響きが整っていて大変きれいでした！ソプラノ、良かったです。中音域でところどころ地声っぽく聴こえてしまったのが残念。気持ちがかもっていて説得力の演奏だったと思います。

2-5【愛をこめて花束を】

女声の発声がきれいでした！ハーモニーも美しく、歌詞がとてもクリアに聴こえてきました。全体のグルーブ感が良かったです。曲の盛り上げ方が上手いと思いました。Ahーの男声の途中で腹筋の支えが足りなかったのか、音程が少し下がって残念でした。

2-6【TSUNAMI】

声を伸ばす際の余韻をもっと味わって歌ったら良いのでは、と思いました。パートのバランスを整えて歌うとより良くなると感じました。サビは高音が続きますが、無理の無い発声でよく響かせられていました。「なぜ」「あめ」などは子音/母音をより大切に歌いましょう。

2-7【結】

発声がとても良かったです。音程も good！ごくまれに統一感がやや乱れたように感じられたのが惜しかったです。歌詞の内容と表現がよく合わさり、心に届く演奏になっていると感じました。一人一人が、この合唱曲の世界観をきちんと理解して歌おうとしていることが伝わってきました。

2-8【ふるさと】

八分音符の連続により、どうしても単調に聴こえやすい難しさがあるので、言葉をフレーズに生かして歌えると良かったです。cresc.などの表現の意図は明確に伝わってきました。優しい歌い方が曲の雰囲気と合っていて好感が持てました。ひたむきな指揮が全体をよくまとめていました。

♪2年生部門♪

【金賞】3組「言葉にすれば」

【銀賞】5組「愛をこめて花束を」

【銅賞】2組「ヒカリ」

【指揮者賞】K・S(3組)

【伴奏者賞】I・R(5組)



〈3年生部門〉

3-1【旅立ちの時～Asian Dream Song～】

和音のハマりがきれいでした！cresc.や f の時の発声がやや荒くなった箇所があったのが残念でした。リピートして同じ主旋律+ハーモニーを2回目として歌う時、1回目とどう変化を付けて歌うか(違いを聴く側に如何に印象付けるか)が難しいですが、歌詞に込められた細やかな心情は良く表せていたと思いました。

3-2【証】

指揮が歌を力強く引っ張っていました。全体的に情熱的で心打たれる演奏だったと思います。細かいリズムになっても、歌詞の一つ一つの母音に響きを付けましょう。歌詞の内容と音楽とがどのように結びついているのかを感じ取り、表現の幅をもっと付けられると良かったです。

3-3【青い鳥】

難曲ですが、曲としてどのようにまとめたいのかが明確に伝わってくる好感の持てる合唱でした。テノールの高音の発声が少し割れてしまったり、若干の音程の崩れがあったりしたのは大変残念でしたが、響きを揃えるのが難しいユニソンの部分など、各声部の声が溶け合って大変美しく聴こえました。

3-4【茜色の約束】

落ち着きを保ちつつリズムが音楽的にきちんと表現できており、完成度が高いと思いました。表情の付け方が too much になりがちな部分は、歌詞と音楽とでそれを一致出来たら良かったです。メロディーのフレージングをしっかりと保てていました。

3-5【懐かしい未来】

合唱に相応しい発声で歌えており、縦の響きがとても良かったです。声部を自分達の創作により増やしたのも効果的で、その他のアレンジも秀でていました。それに併せて細やかで純粋な感情表現が抜群だったので、グランプリにふさわしいクオリティーの合唱が完成したのだと思います。

3-6【HEIWAの鐘】

曲のタイトルや歌詞に込められた思いが、歌でしっかり表現されていました。余裕を持って歌えていたので、部分ごとの曲想をより大胆に変化させても良かったと感じました。
fで歌う際、ちょっとかんだ声になってしまったのが残念でした。

3-7【僕が守る】

冒頭から終結部まで、非常によく考えられた繊細な表現に惹き込まれました。和声の縦の揃い方で気になった部分がありましたが、それをカバーするくらい歌詞にしっかり寄り添って歌えていました。仕上げる過程での指揮者や伴奏者の貢献が大きかったのだらうと思いました。

3-8【心の瞳】

この曲は混声3部が歌うことが多いのですが、混声4部に挑戦して丁寧に歌い込んでいました。主旋律が浮き立って聴こえるように、各声部のバランスをより整えられると良かったです。ハミングは難しいのですが、柔らかさを保ちつつ、息もしっかり通った安定感のあるハミングで歌えていました。

3-9【虹】

混声4部版へのチャレンジ、頑張りましたね。女声の人数が少なくても、男声がそれをちゃんと聴いて柔らかい発声で歌えていたので全体的に美しくまとまりが感じられました。曲想を生かした伴奏が歌をよく支えていました。ハーモニーを聴き合い、バランスや音程を丁寧に揃えるとより良いと思いました。

♪3年生部門♪

【金賞】 5組「懐かしい未来」

【銀賞】 3組「青い鳥」
4組「茜色の約束」

【銅賞】 7組「僕が守る」

【指揮者賞】 Y・M(7組)

【伴奏者賞】 U・M(7組)



事務室・図書室・保健室から



事務室・・・春休み中の取扱時間は平日 9:00～17:00(昼休み:12:00～13:00)、土曜日 9:00～12:00 です。

図書室・・・春休み中の利用可能時間は平日 9:00～17:00 です。春休み中の土曜日は、すべて閉室です。

未返却本は、必ず返却を！

保健室・・・春休み中の開室時間は平日(9:00～17:00)&土曜日(9:00～12:00)です。気になることがあれば、どうぞお電話を下さい。

学校評価アンケート報告

2025年11月に実施した「学校評価」のアンケート結果がまとまりました。回答数は生徒703名、保護者922名でした。ご協力ありがとうございました。選択肢(満足できる・やや満足できる・あまり満足できない・満足できない・わからない)のうち、「満足できる」「やや満足できる」という回答の割合を「満足度」として前回(2024年度)の結果と並べて示しました。□が今回、■が前回の満足度です。今回の回答を見ると、多くの項目において80%前後あるいはそれ以上の満足度が示されています。今年度も、本校の教育活動に一定の評価を得られていると考えられます。今後とも、いただいたご意見を参考に計画を立てて参りたいと存じます。

本校の教育活動について

	生徒	保護者
創立50周年宣言「共育と共創」の教育理念	84 80	84 82
授業を中心とした学習指導	90 89	92 90
生活習慣、校則などの指導	83 76	94 94
進学についての説明会や進路指導	90 87	88 87
緑苑祭、体育祭、研修旅行などの学校行事	94 94	98 96
簿記講座、土曜講座などの課外講座	71 73	71 68
クラブ・同好会などの課外活動	88 89	81 82
海外／国内研修、ターム留学、多言語教育などの国際理解教育	73 72	74 69
学部選択セミナー、ゼミ見学、科目等履修制度など高大一貫教育	81 85	83 88

本校の教育環境について

	生徒	保護者
学習の場としての施設・設備	87 82	90 84
整理、整頓、清掃などのメンテナンス	93 89	94 93

本校の教育管理について

	生徒	保護者
生徒の安全(通学上の安全、ネット被害など)を守る取組み	92 91	88 84
生徒の健康を守る取組み	90 90	87 84
生徒の個人情報を守る取組み(ネットリテラシー教育含む)	91 87	85 82
生徒をいじめやハラスメントから守る取組み	88 87	81 81

本校の教職員について

	生徒	保護者
教職員の責任感	87 83	91 89
教職員の指導力	86 84	86 84
教職員の身だしなみ・服装	94 93	96 95
教職員の生徒を尊重する姿勢	88 87	92 88

高校入学後の意識の変化について

	生徒	保護者
学習活動で明確な目標を意識して努力するようになった	77 77	73 74
クラブ活動で明確な目標を意識して努力するようになった	80 78	77 76
学校行事で明確な目標を意識して努力するようになった	88 90	87 85
探究学習を通じて主体的な活動をする意識が高まった	81 79	71 71

総合

	生徒	保護者
中大杉並高校を後輩や知人に薦めたいと思う	88 88	94 94
全項目の平均値	85 85	92 84

卒業生進路(61期生)

2025年度中央大学学部別推薦者数			
学部	学科・専攻・コース		決定人数
法学部	法律学科		57
	国際企業関係法学科		12
	政治学科		25
経済学部	経済学科		26
	経済情報システム学科		7
	国際経済学科		14
	公共・環境経済学科		8
商学部	経営学科	フレックス・コース	12
		フレックス Plus1・コース	6
	会計学科	フレックス・コース	12
		フレックス Plus1・コース	6
	国際マーケティング学科	フレックス・コース	11
		フレックス Plus1・コース	7
	金融学科	フレックス・コース	5
		フレックス Plus1・コース	2
基幹理工学部	数学科		1
	物理学科		1
	応用化学科		6
	生命科学科		5
社会理工学部	都市環境学科		5
	ビジネスデータサイエンス学科		5
	人間総合理工学科		3
先進理工学部	精密機械工学科		7
	電気電子情報通信工学科		5
	情報工学科		5
文学部	人文社会学科	国文学専攻	3
		英語文学文化専攻	1
		ドイツ語文学文化専攻	0
		フランス語文学文化専攻	1
		中国言語文化専攻	0
		日本史学専攻	1
		東洋史学専攻	0
		西洋史学専攻	1
		哲学専攻	2
		社会学専攻	2
		社会情報学専攻	2
		教育学専攻	2
		心理学専攻	3
学びのパスポートプログラム	1		
総合政策学部	政策科学科		8
	国際政策文化学科		9
国際経営学部	国際経営学科		7
国際情報学部	国際情報学科		8

【他大学】

大 学	学 部	合格者数
筑波大学	情報学群	1
お茶の水大学	文教育学部	1
東北大学	経済学部	1
電気通信大学	I類	1
慶応義塾大学	法学部	1
	文学部	3
早稲田大学	文学部	1
	教育学部	1
	社会科学部	1
	人間科学部	1
上智大学	経済学部	4
	総合人間科学部	2
	総合グローバル学部	2
	外国語学部	1
	理工学部	2
東京理科大学	創域情報学部	2
	創域理工学部	1
	工学部	1
	先進工学部	2
	薬学部	1
	経営学部	1
立教大学	社会学部	1
	理学部	1
明治大学	商学部	1
	総合数理学部	1
学習院大学	理学部	1
青山学院大学	地球社会共生学部	1
法政大学	経営学部	1
	人間環境学部	1
順天堂大学	保健看護学部	1
多摩美術大学	美術学部	1
日本大学	経済学部	2
東京工科大学	応用生物学部	1
	デザイン学部	1
	メディア学部	1
立命館アジア太平洋大学	国際経営学部	1

2026年3月16日現在